

2019 年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2201130	保育論 Study of Child Care & Nursing	小田 良枝	専門	2	選択	2年 後期

**科目の概要**

人間の健康的な成長を考えたとき、胎児期からの心身の発達、生活習慣、環境、社会制度や施策など様々な面から理解するとともに、現代社会における育児上の課題について現状をふまえながら対策について考える。

学修内容	到達目標
① 子どもの心身の発育・発達過程や子どもを育てることの意味を理解できる ② 現代社会の子育て支援について学ぶ ③ 乳幼児の発達をふまえ、人的環境としての保育・教育者としての役割が理解できる	① 子どもの発育・発達を学び「子どもを育てる」とは、どのようなことなのか理解できる。 ② 子育てをめぐる社会状況や人々の考え方の変化と、その背景を理解し、支援の内容を調べることができる。 ③ 乳幼児の心身の発達をふまえて人的環境としての保育・教育者・社会の構成員としての役割が理解できる。

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**      **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	課題や次回の授業内容の提示に対し、主旨を受け止め、進んで取り組み、さらに課題を分析するのに必要な知識についてテキストや文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	一度決めたことは最後までやりきることができる。
考え抜く力	課題発見力	現代の子育て状況を理解し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことなどいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ発表の際聞き手に分かりやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表できる。
	傾聴力	グループワークで人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べる事ができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守る事ができる。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト:「新保育学」岡野雅子ほか著 (株)南山堂  
参考文献:随時、授業の中で紹介する。

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連:「保育原理」「教育原理」「教育心理学」「保育者論」「児童家庭福祉」「社会福祉」「家庭支援論」「小児保健」  
資格との関連:中学校教諭一種免許(家庭) 高等学校教諭一種免許(家庭)、フードスペシャリスト、博物館学芸員社会教育主事

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童福祉法における対象年齢の子どもの発達過程を学び、子育てについての情報、思春期の子どもの情報等に常に興味を持ち、教育者、保護者としての視点で役割を考えると良い。</li> <li>・現代社会の中で子育て中の親子や乳幼児の姿に関心を持つと良い。</li> <li>・現代社会における子育て支援の知識を得ると良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の私語は周囲の迷惑となるので慎むこと。携帯電話は電源を切りカバンの中に入れておくこと。</li> <li>・提出物は指定日に提出すること。後日提出は評価しない</li> <li>・指導した論文形式で最終講義提出のレポートを作成しない場合は単位取得が不可になる。</li> </ul>

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
小テスト		①	・单元ごとの小テストの点数を平均して判定する ①講義内容が理解できているか確認する。 ②自身の見解を述べ、次のステップにどのように行動するのか主張ができているか。 ・出題範囲は、各時点までの授業で学習した内容とする
		②	
		③	
		④	
		⑤	
レポート		①	・授業の中から学んだこと、文献等で調べたことが記述してあるか評価をする。 タイトル「子どもを育てるとは？」 サブタイトル 各自設定する 提出日 最終講義 ① 子どもを育てるとはどのような事なのか、乳幼児の心身の発達をふまえて記述する。 ② 子育てをめぐる社会や人々の考え方の変化とその背景を理解し、保育・教育者として人的環境の在り方を記述する。
		②	
		③	
		④	
		⑤	
成果発表 (口頭・実技)		①	・「あそび」のグループ発表に、グループメンバーとともに目標に向けて協力する力を育成することができたかを評価する。(発表当日欠席しないこと) ① あそびの提案、協調、意見の発信、傾聴ができていたかを評価する。 ② 教育・保育する者として協働する態度で取り組めたかを評価する。
		②	
		③	
		④	
		⑤	
作品		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
社会人基礎力 (学修態度)		①	(主体性) 課題等の主旨を捉え、進んで取組み自己学修ができたかを評価する (実行力) 決めたことは最後までやりきることができたかを評価する (課題発見力) 現代の子育て状況の理解から課題を見極められたかを評価する (創造力) 他者と活動する中で多角的に物事を考えることができたかを評価する (発信力) 相手に分かりやすい話しのポイント、方法ができていないかを評価する (傾聴力) グループ活動の際意見を述べる事ができるかを評価する (規律性) 授業が円滑に進行するようルールを守る事ができたかを評価する
		②	
		③	
		④	
		⑤	
総合評価 割合	100	レ	レポート、毎回の授業態度、授業中の質問(小テスト)の成績を総合評価する

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
到達レベルに加え、S:社会人基礎力のうち7修得できている。 A:社会人基礎力が6修得できている。 ① 子どもの発育・発達を学び「子どもを育てる」とは、どのようなことなのか理解し説明することができる。 ② 子育てをめぐる、社会や人々の考え方の変化とその背景を理解し、支援の内容が自己の考えで列記されている。 ③ 乳幼児の心身の発達過程を理解し、保育内容や遊びを主体的に調べ、協力して実施することができる。	到達レベルに加え、B:社会人基礎力のうち4修得できている。 C:社会人基礎力のうち2修得できている。 ① 子どもの発育・発達を学び「子どもを育てる」とは、どのようなことなのか理解することができる。 ② 子育てをめぐる、社会や人々の考え方の変化と、その背景が解り支援の内容を述べる事ができる。 ③ 乳幼児の心身の発達をふまえて、保育内容や遊びを考え協力して参加できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	・オリエンテーション ・現代社会と保育1 少子化社会「子ども子育て支援法」 ・「子ども子育て支援新制度」を学修する。	講義	・授業の目的、進め方、評価の方法を理解する。 ・「子ども子育て支援法」の目的・理念が分かる。	(復習)「子ども子育て支援法」小テストを行うので覚えてくる。	90	主体性 規律性
2週 /	・現代社会と保育 2 子育て支援 子育て支援の場・連携、子育て支援のあり方について学修する。	講義 ・小テスト ・前週の講義内容をフィードバックする。	・子育て支援の目的・場と連携が理解できる。・伝統社会の子育てから、現代の子育て、支援のあり方を学び理解できる。	(予習)P1～6、P116～120 を読んでくること。(復習)子育て支援の目的・場と連携の小テストを行うので覚えてくる。	90	主体性
3週 /	・妊娠と出産 胎児・新生児・乳児の違い「子どもの人権」についてディスカッションをする。	講義 ・小テスト・グループ活動(ディスカッションのメモ書きを提出) ・前週の講義内容をフィードバックする。	・母体の健康管理と出産について理解を深める。・「子どもの人権」についてディスカッションで自己の考えを発信することができる。	(予習)P7～22、P77～81、114～115、P124～125 を読んでくること。(復習)母体の健康管理と出産について学生時代から気をつける事を記述し提出する。	90	聴覚 傾力 信力
4週 /	・子どもの発達1 乳児期① 乳児期の発達を学び、発達の意味を考え、自己の育ちを記述する。	講義 ・レポート ・DVD視聴(乳幼児の発達と保育0歳児) ・前週の講義内容をフィードバックする。	・乳児期の身体発育・発達について理解できる。・子どもの発達は、新たな能力の獲得に繋がることが理解できるようになる。	(予習)P22～45 を読んでくる事。(復習)0歳児のDVDを視聴し感じた事、学んだ事を記述し提出すること。	90	課題 発見 力
5週 /	・子どもの発達2 乳児期② 子どもの育ちにとって大人と応答的関わりの大切を学ぶ。	講義 ・DVD視聴(乳幼児の発達と保育1・2歳児) ・前週の講義内容をフィードバックする。	・発達は1人ひとり違い、身近な大人との応答的関わりにより発達・発育が促されることが理解できる。	(予習)P53～77 を読んでくること。(復習)1・2歳児のDVDを視聴し感じた事、学んだ事を記述して提出すること。	90	課題 発見 力
6週 /	子どもの発達3 幼児期① 感情・情・情動の発達と言葉獲得の関係を学修する。	講義 ・DVD視聴(乳幼児の発達と保育3・4・5歳児) ・前週の講義内容をフィードバックする。	・感情・情・情動等の発達段階と言葉の獲得における教育のあり方が説明できる。	(予習)配布資料読んでくること。(言葉とコミュニケーション)(復習)子どもの心を育てることについて考えを記述してくる。	90	課題 発見 力
7週 /	・子どもの発達4 幼児期② 子どもの育ちにとって遊びの重要性を学修する。	講義 ・レポート作成 ・前週の講義内容をフィードバックする。	・子どもの成長発達の基本である「あそび」の発達や変化、ルールの獲得など教育の関係から説明できる。	(予習)P95～106 を読んでくること。児童センター、児童館での支援を調べてくる。(復習)子育て支援の場と連携先を復習する。	90	傾力 聴覚 信力
8週 /	・子どもの生活・保育1 育児上の課題についてグループ討議、発表をする。	講義 ・グループ活動(グループ討議のメモ書きを提出) ・前週の講義内容をフィードバックする。	・児童館での子育て支援について理解できる。・子どもの生活に理解を深め育児上の課題が説明できる。	(予習)P106～111 を読んでくること(復習)「各グループの育児上の課題についての自己の支援方法を考えレポートにまとめ提出する。	90	傾力 聴覚 信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	・子どもの生活・保育2 折り紙遊び・あやとりの実践する	講義・実技・前週の講義内容をフィードバックする。	・親子のふれあいを深める、折り紙・あやとり遊び方が説明できる。	(予習)配布資料を参考に、折り紙・あやとりを練習してくる。(復習)子どもを育てる大人としての役割についての下書きをする。	90	実行力
10週 /	・子どもの生活・保育3 親子で遊べる遊びについてグループ討議で決定後発表する。	講義・グループ活動・前週の講義内容をフィードバックする。	・子どもと親を繋ぐ「あそび」の発表についてグループで話し合い目的が説明できる。	(予習)子どもを育てる大人としての役割についての考える。(復習)「子どもを育てるとは？」まとめのレポート内容を考える。	90	傾聴力 傾力 信力
11週 /	・地域における子育て支援 現代社会の理解と保育者が担う課題を学修する。	講義・グループ活動 保育者が担う課題について討議する。(グループ討議のメモ書きを提出)・前週の講義内容をフィードバックする。	・認定子ども園、多文化理解、男女共同参画の理念など現代社会の重要な変化が理解できる。	(予習)P115～120を読んでくること。・看護方法の資料を配布するので読んでくる。(復習)「子どもを育てるとは？」まとめのレポート内容を考える。	90	課題 発見力
12週 /	・子どもの病気・怪我と看護1 疾病を学び、感染症の特徴や看護方法を学修する。	講義・前週の講義内容をフィードバックする。	・乳幼児に多い疾病・怪我、感染症の特徴や看護方法を学び、ケガ・事故の予防方法が理解できる。	(予習)・P141～157を読んでくること。(復習)「子どもを育てるとは？」まとめのレポート内容を考える。	90	主体性
13週 /	保育の現場を見学する 保育現場での環境などを見学し、保育・食育について学修する。	演習・保育園見学	・保育園見学を通して日常の生活、遊び、食育の環境が説明できる。	(予習)保育園見学控え、目的を考え配布用紙に記述する。(復習)保育園見学を通して日常の生活、遊び、食事などを理解したことをまとめる。	90	主体性
14週 /	・保育・教育者としての人的環境 人的環境としての役割を学修する。	講義・グループ活動・前週の講義内容をフィードバックする。・ミニレポート作成	・乳幼児の心身の発達をふまえて「子どもを育てる」とはどのように考えるか説明できる。・他のグループの発表を聞き、「子どもを育てる」とはどのように考えるが理解できる。	(予習) (復習)「子どもを育てるとは？」レポートの下書きを完成させておく。	90	傾聴力
15週 /	・まとめ 「子どもを育てるとは？」のレポートを作成する。	講義 レポート作成 ・レポート提出 ・14週間の講義内容をフィードバックする	・「子どもを育てる」ために人的環境としてのあり方が理解できる。	(予習)講義で学んだことを踏まえレポート作成に臨む。	90	創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力